

県立高専の市内誘致に向けた意見交換会の 開催結果について(速報)

1. 概要

滋賀県は、県立の高等専門学校について令和9年度の開校を目指し、整備場所の選定を進められておられますが、今月8日には、県有地のなかでは、野洲市が提案している県有地が最適であると発表されました。本市といたしましては、最終的な整備場所を確かなものとするため、県で策定された用地選定基準をもとに、現時点での採点結果を分析し、更にバージョンアップした新たな提案を行うこととしています。

このため、当該立地を活かした学校づくりについて、市内事業所との連携を積極的にアピールして加点を行い新たな提案につなげるため、「企業として協力できること」「企業が市に求めること」などについて、意見を交換する場を設けたところです。

2. 日 時 令和4年6月21日(火) 10時から11時15分

3. 場 所 野洲市役所3階 第1委員会室

4. 参加者 企 業：オムロン(株)、京セラ(株)、平田機工(株)、(株)村田製作所 他
経済団体：野洲市商工会、野洲工業会
関係市町：草津市、守山市、栗東市、竜王町
野洲市議会（議長・副議長） 野洲市（市長・副市長）



5. 主な発言内容

【企業として協力できること】

- ・モノづくりと研究開発のどちらの部門でも、また、入学当初、就職間近のどちらの学生でも研修を受け入れ可能
- ・インターンシップ、出前事業など、現場ならではの話ができる。
- ・高専の学生との共同研究を視野に入れたい。
- ・野洲を中心に複数の事業所を展開しており、これらも巻き込んでいきたい。
- ・授業の教材として、ロボット関係の提供やロボットを扱う際に必要な特別教育（資格）のサポートが可能。
- ・各種装置の設計や開発について、実習していただける。
- ・就活の際に現場を知っていただける機会を設けられる。

【企業が市に求めること】

- ・毎年新入社員で数十人入ってくるが、単身の社員寮が不足している。どこにどう要望していいかわからない。
- ・特徴的な高専になれば、他府県遠方からも学生が来ると思うので住居確保が必要。
- ・高専が開校されれば、教職員を含めると1,000人程度が新たに野洲市に来ることとなる。これを起爆剤に、通勤通学だけでなく楽しんで帰っていただけるような町になってほしい。
- ・野洲には野洲の特徴や良さがある。草津のような都市化とはまた違ったゆったりとした大らかなイメージでまちづくりをしてほしい。
- ・卒業後に、大阪や京都に流れずに野洲に住みたいと思われるまちづくりをして欲しい。
- ・若い人受けするイベントや商業施設など野洲市をPRできるものを。
- ・困っていることは、市内に一定規模のホテルがないこと。
- ・野洲に住んで、何もなくていいところが良いとも思っていた。草津に、守山にそして近江八幡に依存するのも良いと。ただ、提案地付近には、何もないので商業施設などがあれば良いと思う。
- ・土日に単身者が気軽に入れる店が少ないと思う。
- ・高専から駅までに広がる農地について、住居や商業施設などへの土地利用転換を図っていただきたい。

【その他】

- ・高専卒の学生を採用したいが、競争率が高くなかなか採用できていない。
- ・高専ができれば、県立であっても市民や企業との窓口は市において欲しい。
- ・高専卒の人材が必要とされているのに、大学との連携をすることで、大学編入の学生が増加し、人材確保が困難となる。

